

05.03.02 長計についてご意見を聴く会

「研究開発のあり方と技術政策」

後藤 晃（東京大学教授）

1．技術進歩の重要性

経済成長の源泉・・・資本の増加、労働の増加、技術進歩

人口の高齢化により、資本、労働の増加は望めない 技術進歩の重要性

2．研究費の動向

世界的に高い水準 これ以上の増加はあまり望めない（図 - 1）

3．効率的なイノベーションシステムの構築の重要性

国全体のシステムとして効果的な技術進歩を実現していくことが重要

4．技術政策

国の役割

技術は外部性があるので、技術開発に対する国の支援が必要

特に基礎研究は外部性が大

公共財の供給者としての研究、ミッション型

技術政策の体系

供給側への政策

需要側への政策

5．基礎研究

概念上の問題

産業技術における科学的研究の重要性

日本の現状（図 - 2）

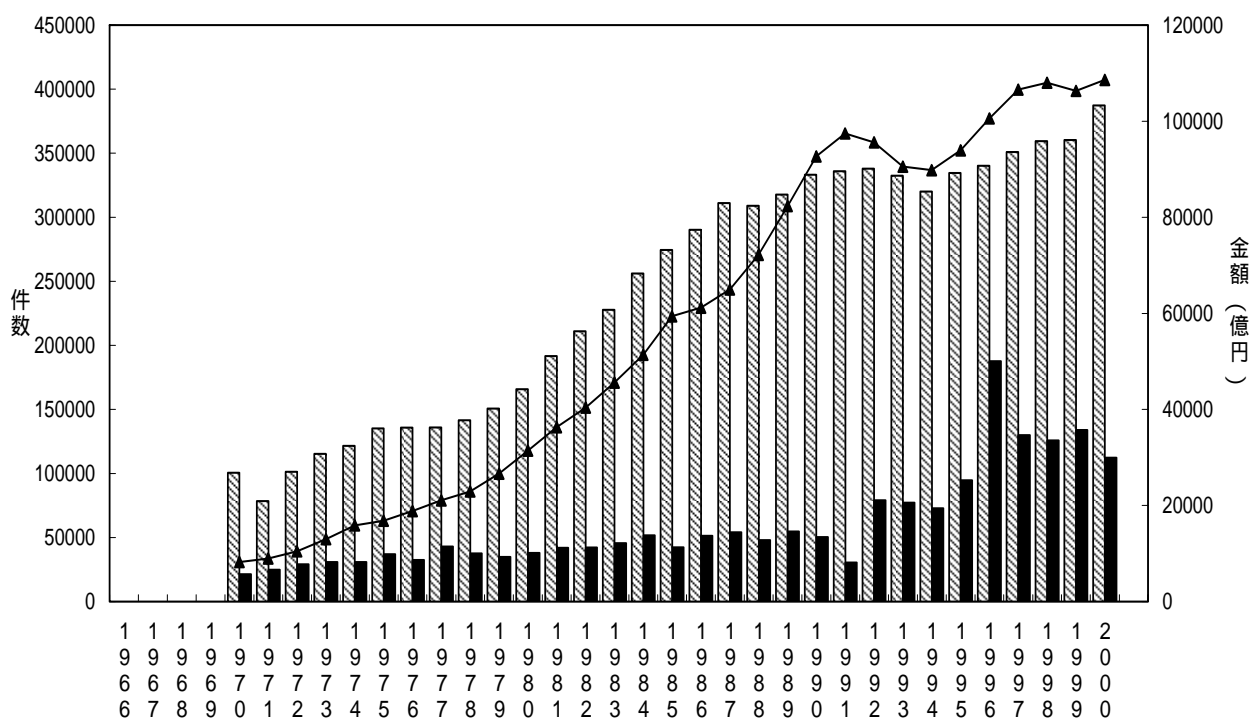
6．評価

アカウンタビリティの確保

以降の政策の改善のための知見の獲得

現状は？

図-1 特許出願・登録件数および産業部門研究費の推移



注 研究開発費はGDPデフレーターで実質化した。(1995年価格)以下の図においても同様。

資料 特許庁年報 科学技術研究調査報告

▨ 特許出願件数(日本人) ■ 特許登録件数(日本人) ▲ 産業部門研究費(実質)

図-2 各セクターにおける基礎研究費の割合

